

ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】 「言葉にできる」は武器になる

梅田 悟司 著 日本経済新聞出版

ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2020年6月1日 Vol. 212

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

ライフコンサルタント 渡邊 敏徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

コロナ危機後の社会

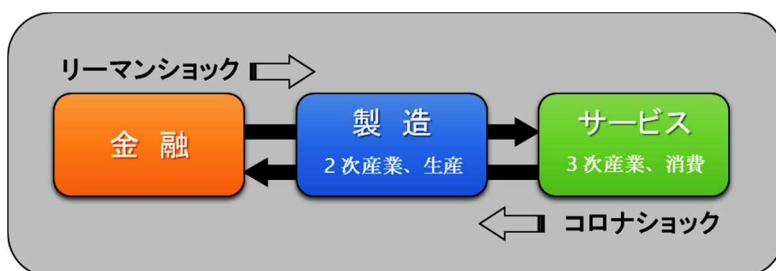
「新型コロナ危機」の後に待ち受けている社会はどんなものになるのでしょうか？新型コロナの影響でアメリカの失業保険の申請件数は、非常事態を宣言した3月中旬から6週間で約3,000万件となり、実に労働人口の約6人に1人が職を失いました。日本においても多くの企業が影響を受け上場企業も倒産しました。

世界を震撼させたリーマンショックが2008年にありましたが、その時はまず金融危機が起こり、その後金融から製造（2次産業、生産）、そしてサービス（3次産業、消費）という流れで経済がどんどん悪化していきました。最初に金融危機が発生したことでお金がまわらなくなり製造業が危機に陥りました。そして生産が落ち込んだことで消費が悪化、サービス業も打撃を受けました。

しかし、今回の新型コロナショックはそれとは逆の流れで、コロナにより外出規制が起こりまず消費やサービスが落ち込み、企業業績が悪化しました。これから金融不安につながり経済危機が広がっていくと考えられます。

「今から数十年後に振り返ったときに、これから起きる多くの出来事が『今回の新型コロナ危機が分岐点だった』。長期的な視点に立てば、世界経済の成長が大きく減速し、アメリカや欧州の凋落が決定的になる」と世界的に有名な投資家は言っています。そして「世界が大不況に突入することは、もはや避けられない。最大の理由は世界中の国が経済を停止させ国境を閉じてしまったからだ」とも言っています。

過去の歴史を見てみると、人々が豊かになるのは国を開いて、人々の往来や交易が盛んになる時でした。15世紀以降の大航海時代や19世紀の「第1次グローバル化」と言われる時代、コロナ前のグローバル社会における経済成長がそれを証明しています。現在の国際情勢は過去の歴史をないがしろにするような動きが止まりません。自国優先ばかりを続けていくと、希望ある社会は開けてこないように感じます。



カリギュラ効果

見てはいけない物を見たい、触ってはいけない物を触りたい。ある行動を禁止されることで、かえってやってみたくてしまう心理現象がカリギュラ効果です。

禁止されたことに対して、興味が沸き起こってしまうカリギュラ効果ですが、心理学上の心理的リアクタンスと同様に、他人から禁止されることに対して感じるストレスがその心理効果の根底にあると言われています。

私たちの日常生活の中でも、カリギュラ効果を利用している事例を考えると、「会員限定」「絶対に〇〇するなよ！」「この答えは、CMの後で！」などなどたくさん見かけます。日本人に馴染みの深い昔話にも、カリギュラ効果が隠されています。「浦島太郎」では、「決して開けてはいけない」と乙姫に強く念を押されていたにもかかわらず、浦島太郎は玉手箱を開けてしまいます。また、「鶴の恩返し」では、老夫婦のもとへやって来た若い娘が「絶対に中を覗かないでください」と伝えたにもかかわらず、老妻が好奇心に勝てず機織りの様子を覗いてしまいます。欲望に抗うことができず行動してしまいました。

今回のコロナ渦においても、「飲みに行かないでください」「パチンコに行かないでください」と禁止されればされるほど、かえってやりたくなるカリギュラ効果が悪い結果を招いてしまった例かもしれません。人間の深層心理に訴えかけ、行動を左右する効果のため上手に使いこなすことが重要ですね。



【座右の銘にしたい名言】



自分自身を裏切らない努力の姿勢が未来の結果として現れてくる。

(羽生善治/日本の将棋棋士、十九世名人)